

単元名 いっしょに おさんぽ(立体)

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 手などの感覚を働かせながら、思いに合う形を見付け、工夫して立体に表すことができる。
 (2) 一緒に散歩に行きたい仲間を思い浮かべて表したいことを考えるとともに、つくったものの面白さやよさを友達と見付けることができる。
 (3) 粘土で自分と一緒に出かけたい仲間を楽しく立体に表そうとする。

標準的な展開例

01080303_001

【準備等】粘土（1 kgくらい）、粘土板、粘土べら、新聞紙、汚れてもよい服装 など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1, 2 粘土で「自分」と、一緒に出掛けたい人や動物をつくる。</p> <p>○教科書の参考作品を見ながら、誰とどこに出掛けたいか発想を膨らませて、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卵を持ったペンギンとお散歩に行くよ。 ・カバとお散歩するよ。 ・大きなゾウにみんなで乗ってお散歩に出かけるよ。 <p>★一緒に散歩したい動物をつくろう</p> <p>○「自分」や一緒に出掛けたい人や動物を、表し方を工夫しながらつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だんごづくり ・つまみ出し ・ねじる ・細かいところをつける ・へらを使って ・竹串を使って <p>○「おさんぽ」の情景を思い浮かべながら、手足の動きや表情をつける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかよく手をつないででかけたいな。 <p>○つくりながら思い付いたことを付け足すなどしてさらにイメージを広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行進しているみたいに並べてみよう。 ・クラスのお友達も一緒につくってみたい。 ・周りのお花や草もつくろうかな。 ・「自分」の服もつくってみよう。 <p>○「おさんぽ」の様子が分かるように、作品の置き方や並べ方を工夫する。</p> <p>○それぞれの作品を見ながら友達と交流したり、自分や友達の作品のよさや面白さを見つたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゾウさんの顔も笑顔でみんなが楽しそうだな。 ・カバの口がとて大きくて、面白いね。 	<p>・教科書 1・2 上 P. 54, 55</p> <p>・児童のアイデアやひらめきを肯定的に受け止めて共感し、積極的に意見交換できるように促すとともに、活動への意欲を高める。</p> <p>・形を自由に変えられる粘土の性質をとらえさせるため、粘土に慣れさせる。</p> <p>・つまみ出す、付ける、重ねる、模様を刻むなど、粘土の扱い方を指導する。</p> <p>・細かいところをつくるための粘土をあらかじめ分けてとっておかせる。</p> <p>・基になる形を安定させるため、胴体の重さを支える手足を太くすることなどを助言する。</p> <p>・つくりながら思い付いたことを付け足すなどイメージを広げさせる。</p> <p>【評】手の感覚などを働かせ、粘土の形や表し方を工夫しながら制作する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・どんなふうに「おさんぽ」しているのか児童と話しながら、つくりたいものを表すことができるようにする。</p> <p>・個々の児童の悩みやつまづきに対して、一緒に考えて、児童自ら解決できるように、児童と交流しながら活動を進める。</p> <p>・友達の工夫や自他のよさをに気付く、新しい発想や表現の工夫などができるように、グループ活動を取り入れるなど、学習形態を工夫する。</p> <p>【評】自分と一緒に出掛けたい人や動物のポーズや並べ方、表し方を工夫しながら制作する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】一緒に「おさんぽ」する様子を楽しく作る活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・「おさんぽ」に出掛ける場所ごとにグループ分けするなどして、できあがった作品の飾り付けにグループ活動を取り入れてもよい。</p> <p>・友達とともに話しながら「おさんぽ」を楽しみ、個々の作品や並べ方の工夫や面白さに気付くことができるようにする。</p> <p>【評】友達と話しながら、作品の形や並べ方などの工夫や面白さを感じ取る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【備 考】

特別な教科道徳との関連

B- (9) 「友達と仲よくし、助け合うこと。」との関係が深い。一緒に散歩する相手や楽しく散歩する様子を考えることを通して、道徳の指導へとつなげていくことができる。